

■ 運営者評価

※10名以下の評価者であったため、統計値としての計測は不可につき、個別のコメント評価を記載した。

(手法の向上)

- ・協力・連携した企業団体との関係性が深まった（4社）
- ・農業体験・食育・料理教室などの断片的だったものがつながった（4社）
- ・初取組のよいきっかけとなった（2社）

(課題)

- ・限られた時間しかない中、食育の講座の時間を盛り込むことは難しい（2社）
- ・予算と人員の確保
- ・売り上げ増へどうつなげるか

(推奨意向)

- ・費用負担があれば
- ・教材やツールの支援があれば

4) まとめと課題

- フードチェーンという言葉の理解、意味も含め、参加者への高い理解促進となった。
- 同プログラムを通じて、新鮮な野菜や、作りたての食材に、見て、触れて、食べることにより、「バランスのよい食生活」「健康のため1日に食べることが望ましい野菜の量」への理解も90%を超える高い数字となった。
- 参加者のアンケート結果、保護者からの自由記述、子どもの感想文や絵日記からも明らかのように、充実した食育プログラムである一方、運営側の費用・時間・日常業務との調整が大きな課題であり、定期的な継続は難しいという声が多く挙げられた。

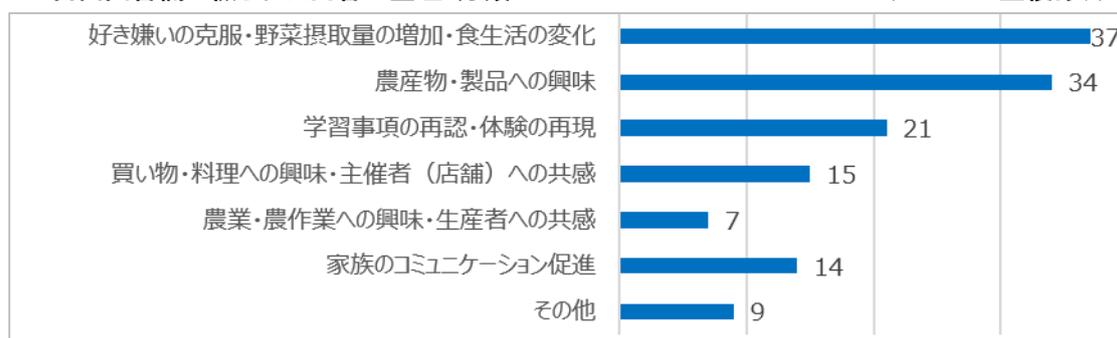
(参考) 自由回答 保護者の感想 参加者2次アンケート(モニターアンケート)より

Q: ツアーに参加したあとの出来事で、特に印象に残ることがありましたらご自由にお書きください。

当事業の2次アンケート(モニターアンケート)では、『フードチェーン食育体験プログラム』を体験した後の子どもたちの考えや生活の変化について、保護者に自由に書いてもらった。綴られた内容を整理すると主に下表の7つに分類でき、最も多いのが「好き嫌いの克服・野菜摂取量の増加・食生活の変化」、次に「農産物・製品への興味」と続いた。フードチェーン食育体験を経て、適切な食事に対する理解と実践意欲が向上し、農産物・製品への関心が高まった傾向などが読み取れた。

■ 自由回答欄に綴られた内容の整理・分類

(n=92 ※重複あり)



(以下、自由回答より)

● 「好き嫌いの克服・野菜摂取量の増加・食生活の変化」が見られたという回答

1. 子どもには変化はありませんでしたが、私自身、野菜をたくさん食べよう、バランスの良い食事をしようという意識が高まりました。ただ、続かないんですよね…
2. 野菜が大好きになりました。野菜は、体に良いことを勉強したので、たくさん食べるようになった。「1日野菜を5皿だね。」と食卓で話題に上るようになった。「しょう油工場に行ったんだよね。」とスーパーで会話するようになった。正田醤油があると興味深く見ている。買い物と一緒にきたがるようになった。
3. 食事に、にぎりこぶし大の野菜をなるべく取るように心がけました。スーパーでホクトさんのきのこをよく買うようになりました。実際に見て安心だと思ったので。このアンケートを見てまた5ADAYのことを思い出したのでこれから5皿がんばろうと思いました。
4. 野菜の新鮮さにおどろいていた。野菜を良く食べるようになった。
5. 学校の給食も残さず、食べる様になりました。家では、バランスの良い食卓を心がけています
6. 生野菜をあまり食べなかった7才の息子が、産地で生のキャベツを丸かじりしてから生の野菜も食べる様になりました。また、スパークのキャラクターが「スパックくん」だと知らなかったのですが、クイズに出てからお店でも「スパックくんだ!」と言う様になりました。オタフクソースは以前から使っていましたが、千枚漬の素はあまり気に止めていなかったのですが、試食してから息子がお店で「買って」と言う様になり、新しい発見でした。
7. バランスの良い食事にするように心掛けるようになりました。いろいろな常備菜をつくりおきして1~2品足りない時にプラスしています。子どもも野菜と果物の量を気にするようになり「今日は

これで野菜〇皿」「この果物は一コ こっちなら二コ」と話題にしています。もともと快便でしたが1日にお通じが2～3回でることが多くなりました。

8. 子どもは野菜が食べられなかったのが、少しずつ食べられるようになった。
9. いろんな野菜を食べるようになりました。自分で収穫したのがとても楽しかったらしく、今でも、ツアーのことを覚えています。
10. 子どもは野菜嫌いでもほとんど食べなかったのに工場でだされたトマトとトマトジュースを残さず食べたのにはおどろきました。収穫し持ち帰ったトマトを使ってのミートソースを喜んで食べてくれたので、本当に良かったです。また参加したいです。
11. 我が家ではアレルギーは無いから大丈夫！6年生になったら何でも食べる！の約束のもとにお皿に「ひとくち」は必ずつけます。主人のお弁当も野菜多めなので、朝食からご飯の事が多く朝からモリモリ食べます。でも畑で育つ姿を見せるために参加しました。娘の記憶にしっかり残りました。
12. 12才の娘は、きのこ工場見学をさせてもらい、美味しいきのこも食べさせてもらい、とても喜んでいました。家でも楽しかった話をしてきのこや野菜をたくさん食べるようになりました。生産者さん達に感謝をしながら美味しく家族で食べています。貴重な体験と楽しい思い出になり、感謝しています。これからも感謝しながら、栄養バランスの良い野菜や和食を食べようと思っています。
13. トマトはあまり好きじゃなかったのですが、トマトソースでスパゲティをしたら、モリモリ食べてくれました！それからは、生もOKになりました
14. 朝食では、あまり時間がないので、パンのおかずとして野菜は、出さず果物だったが、簡単なソーテーやサラダを必ず出すようになった。
15. 冬休みの宿題で“給食”についての作文がありました。野菜嫌いだけど、にんじんの収穫体験でにんじんを少しずつ食べる練習をしていると書いていました。本当に少しの量ですが、食べようとする気持ちを持つようになったのだなーと思いました。
16. 子供では、ありませんが、私が、食肉から加工されウインナーやベーコンになるまでの沢山の人の苦勞を見て、食べ物を残さず食べることを教えるようになりました。
17. にんじんのおいしさ（甘さに）に感激、よく食べる様になりました。
18. 6才の子どもは、生で採れたてのトマトを食べて、野菜本来の味におどろき、それ以後、様々な種類のトマトを食べくらべるようになり、いつのまにか、トマトが好きになっていました。
19. 行方のトマトの収穫、いも掘り体験に参加しました。昼食で野菜の天ぷら、とん汁などたくさん頂きました。うちの子供は、野菜の天ぷらがながて、でしたがみんなにつられて、たくさん食べ、おいしかったと言っていました。
20. とても有意義なツアーに参加できたと、今でも印象に残っています。息子は食べず嫌いでも野菜はほとんど食べられませんが、トマトの収穫をしたり…で野菜に関心は持つようになったと思います。バスの中でのクイズ等楽しかったのですが、大人は結構ヘトヘトになるので、ゆっくり休める時間があっても良かったと思います。すみません…。
21. 11才の子供は、野菜が好きでは、ありませんでした。収穫体験をしてから、さつまいもをストーブで焼くといっぱい食べてくれるようになりました。うれしい事です。
22. 野菜やくだものをスムージーとして飲む機会が増えました。
23. お弁当を残さず食べるようになった。野菜を食べる事が多くなった。冷凍食品工場見学だったので、子供と買い物に行くと冷凍食品コーナーを子供が良く見るようになった。男親として参加させていただき、土日の休日に子供と充実した時間が過ごせてとても楽しかったです。子供と一緒に沢山の社会勉強を出来ることができ、このようなイベントがまた沢山あればいいと思います。また、是非子供と参加したいと思いました。イベント情報等、教えていただくと、とてもありがたいです。

24. 9歳の長男は、それまで白菜を口にすることがなかったのですが、収穫体験の後、できたたての食材を試食した時に「生でも美味しい！！」と思ったらしく、その後は家でも生でディップをつけてバリバリ食べるようになりました。自分で、マヨネーズでディップを作ってくれたりもします。ありがとうございました。
25. 息子はあまりコンニャクを食べなかったのですがこのツアーに参加したあとはおでんなどでもコンニャクを食べるようになりました。とても勉強になったと息子も言っていました。
26. トマトをつかった料理は今までも食べていましたが、生のままは嫌いでした。収穫体験で自分で取って食べたのをきっかけにミニトマトが大好物になりました。また、買い物についてくるようになり、野菜の産地表示を気にするようになり、積極的に野菜を食べるようになりうれしいです。
27. トマトがとても栄養がある事がわかり、親子で積極的に、ひんぱんにトマトを食べるようになりました。ツアーの後、ツアーを主催して下さったスーパーやメーカーのイメージが良くなり、親子で、そのスーパーに行ってカゴメのトマトジュースなどの製品を見つけては喜んで買って飲んでいました。工場を見学させてもらったりで、製造過程を見ているせいか、カゴメの製品にとっても安心感を持って購入できます。また、ツアーの時には、バスの中でもクイズやらなにやらで、とても楽しませてもらったので、親子でとてもいい思い出となり、その時、盛り上げて楽しませて下さったカスミさんやカゴメさんに少しでも貢献したくて、自然とスーパーに頻繁に通っていてカゴメさんの商品も前より身近に感じて購入させてもらっています。もともとトマトが大好きだった子供も、ほぼ毎日、トマトが食卓にのぼるようになってからは、トマトの種類によって違う微妙な味の違いにも気づき、色々な味や、硬さのあるトマトの存在を知ったようです。収穫体験の時にカゴメのトマトジュースに使っているトマトを実際に収穫させてもらい、それからよく見てみますと、カスミなどのスーパーにもこれと同じ種類のトマトが売られている事がよくあり、皮が硬めのおいしいトマトを子供も喜んで食べています。子供時代にとってもいい体験をさせてもらったので、きっと大人になってからも野菜を中心とした食生活が送れて健康に気をつけた生活が送ってもらえるのではないかと願っています。
28. 収穫体験は初めてだったので、よろこんでいました。トマトは今までも好きで食べていましたが、その後もトマトは好きです。サツマイモもふかして食べています。
29. トマトは元々大すきで、収穫後まち切れず、バスまで歩きながら“パクッ”その時、農薬も使ってナイから、大丈夫食べれるよと教えて下さいました。食の安全を再認識、その後野菜は皮まで食べています。逆にピーマンは大キライでしたが、収穫後の昼食で頂いてから“あれ？おいしいよ”と家庭でもどんな調理法でも“大すきになった”と食べられるようになりました。スーパーでの買い物中には、それまではただただ母に付いて歩いているだけでしたが、参加後は、“これ何てゆう野菜？”“コレは〇〇だよ”と、野菜に興味を持つようになり、付いてくるだけの買い物か、本人も今ではすごく楽しく一緒に勉強しながら買い物ができるようになりました。
30. 鉢植の花を意識して見るようになった。野菜をよく食べるようになった。
31. はくさいを収穫したのですが子供があまり好きではなかったが昼食で地元の方が作ってくれたあえものが気に入ったようで子供と一緒に自宅でも作ったことです。大桃さん、きれいだった！！
32. トマトを食べれなかった娘が収穫したトマトは食べました。他のは食べませんが…。

●「農産物・製品への興味」が見られたという回答

33. とれたてのキャベツがとてもおいしかった、ということと、キャベツを収穫した時、キャベツの水分が切り口からたくさん出ている、ということも今でも思い出して会話に出てきます。ツアーで食べた、韓国のりが入ったキャベツのナムルがとても気に入って、家でも何度か作り、子供が喜んで食べています。
34. さつまいもの天ぷらが大好きになりました。

35. 7才の娘は、にんじんを収穫してから、にんじんに興味がでてきたようです。畑で見た物と、スーパーなどのにんじんが、少し違うと言っていました。(色や形など)
36. カゴメのトマト工場見学ツアーに参加しました。その日はあいにく雷雨で、トマト狩りができなく、子供はまたいつか参加したいと常々言っています。また機会があったらぜひまた参加したいです。
37. トマトのおいしさ、新鮮さなど自然からの恵みをありがたく感じとれるようになれました。
38. 主催した、「とりせん」の事や、しょう油工場見学だった為、しょう油の種類に興味を持つ様になりました。学校でも、しょう油に関する、「テスト」がありました。よく孫が口にする様になった言葉が「ファイブ・ア・デイ」という言葉です。ツアーに参加して、とても良かったので又、機会があればと、楽しみにしています。
39. 実際に収穫したトマトでトマトソースを作ってパスタを作りました。
40. 収穫させていただいたトマトで、ミートソースを作ったのですが、普段利用している市販のミートソースより、たくさんの玉ねぎ、やきのこを使用しました。同じ一食でも、採れる量の違いにビックリしました。きのこがあまり好きでない娘ですが、一緒に作るのを手伝ってくれたので、しめじが入っているのを分かっているはずなのですが、たくさん食べたのも、驚きました。忙しさに負けて、レトルトや出来合いの品を利用することが多いのですが、手作りの良さを実感しました。
41. 同じようなツアーがあれば、また参加したいと言っていた。採れたてのトマトは、いつも買うトマトよりおいしいと言っていました。
42. しょう油の原材料や工程を知り、留守番していた家族に色々話していました。家族でしょう油の味比べをして楽しみました。その他の食べ物の(原材料や)製造工程にも関心が高くなりました。
43. 今まで工場見学に親子で行ったことがなかったので、とてもいい経験となりました。子どもも、私もどういった経緯で、ジュースができて、食卓まで届くのがよく理解できました。トマトの栄養についてもたいへん勉強になったと思っています。
44. しょう油工場の見学をさせていただいたのですが、“卓上のしょうゆ”をいろいろこだわってえらぶようになりました。(減塩、さしみ等)
45. TVコマーシャルでカゴメの商品が出ると「見に行ったよね」とうれしそうに話します
46. カゴメのトマトジュースになる為だけに作られたトマトを試食出来た事が本当に特別な事だったので、トマト大好きな娘は、いまだに、あの時のトマトは、本当においしかった！と言っていました。また収穫する事が楽しくてまた収穫してみたいと言っていました。
47. 雨で収穫ができなくて、外の畑の様子を見ただけだったのは残念だったな～。でもなぜかその雨にうたれるガラス窓の光景が頭にのこっています。今まで、私も子供もトマトジュースはいまいち…だったのですが、あのときのんだプレミアム(?)のトマトジュースはおいしくて！その後購入もしました。
48. もともとトマトが好きな息子ですがあれからスーパーでカゴメのトマトやジュースをみつけると喜んでカゴに入れるようになりました。おいしいトマトをえらんでみたり、ヘタのところがとれやすくなっているトマトをみると、工場のことを思いだしているようでした。夏休みには、大きなトマトをほおぼる自分を絵の具で描いて学校に提出していました。とても思い出に残ったようです。
49. 納豆を自分で作る体験をさせていただきましたが、楽しかったようで自宅へ帰ってから家族へ作り方を話したり、自宅で納豆が届くのを毎日とても楽しみにまっていた。届いてからもおいしそうに食べ、毎日、納豆を食べる生活が続いています。又、手巻き寿司をいただきましたが、納豆以外の食材とのいろいろな組み合わせが食べることができて、楽しみました。おみやげでいただいた、昔の作り方で作った酢を使って家でも手巻き寿司を作っています。今では、今まで使っていた寿司酢ではものたりない感じです。

50. ソーセージの作り方がわかり、子供がいろいろな食材の製造に興味を示すようになりました。
51. こんにゃくを実際に作ってみて、メーカーの方のお話をきいたので、スーパーでその会社の製品を見かけると、ツアーの話思い出してすることがありました。
52. きのご類がさらに好きになり、工場見学でいったメーカーのきのご類を見つけると、うれしそうでした。
53. 習った料理のレシピをお友達に話したり、以前より興味をもつ様になりました。朝から野菜を食べる事を心がけたお陰で、ほとんどカゼをひかずに過ごせています。
54. 納豆を食べるたびに、また納豆作りがしたいなと息子は言っております。
55. いも掘り体験後、さつまいもに興味を持ち、色々な料理を作ってみたいと言うようになった。又、スーパーで、「5 A D A Y」の文字を見かけると、これはあれで～と説明をしながら、買い物をするようになった。ツアーはとてもよい体験になった。

● 「学習事項の再認・体験の再現」が見られたという回答

56. 7才・小1の娘は、「5 A D A Y」の絵を見ると、こまの形だよねと言ったり、教わったことを話したりしています。マグネットをホワイトボードにはったよねとか、思い出し話していました。私も一緒に教わったので、牛乳を、出す時や、納豆を出す時に、教えてもらったことを、話しています。
57. この体験によって家族全体で、野菜が体にどれだけ大切かということをあらためて考えることができました。バランスのとれた食事をするのがどうして大切なのかということが子供たちにもわかってもらえてとてもよかったですと思います。
58. 小学生の男の子ですが、野菜の栄養や働きなどにも以前よりも関心が高まった気がします。食卓でも意識して野菜を使った食事のメニューを増やしました。参加した際の工場で製造された食品を身近に感じるようになったので購入する回数も増えました。
59. スーパーで「5 A D A Y」という言葉を見つけた娘（8歳）が参加してから2、3ヶ月は経つのに、「あっ、“5 A D A Y”だ」と覚えていたので、驚きました。食べ物の赤・黄・緑に興味を持ち、時々食べ物を見て、これは赤、これは黄色など言っています。
60. 5 A D A Yという言葉が子供が覚えていた。
61. 参加した子供から「これは赤、これは黄色」と食べ物の色分けグループを口にするようになった。おかげで私も気にしながら食卓に出すようになりました。外食で出るサラダに対して「これ70gには少ないね。」と子供が言うようになりました。スーパーで参加した企業の食材を手にするようになりました。
62. 野菜の大切さを知り、煮物など「体にいいんだよ」と言うようになり食べる量も、がんばって、こぶし1つ分は、たべてくれる。1品食いがなくなった。私も、忙しくても、野菜をゆでたり、サラダにしたり、具たくさんのみそ汁を、1品は用意するよう心がけるようにしている。
63. 食事のときに食べている物がどのグループのものか、(赤・黄・緑)やその物が何から出来ているかなど、(ちくわは…?)などの話をする機会が増えました。
64. もともと好き嫌いのあまりない子でしたが、野菜の事を重要に考えるようになり、サラダから食べるようになりました。
65. ツアーに参加して、野菜をたくさん取り、バランス良く食べる事を理解してくれたと思います。
66. スーパーの広告を見るのが大好きになった。5 A D A Yが載っていると教えてくれて喜んだり、スーパーで5 A D A Yのポップを見つけて喜んでいる。時々、食卓に並ぶサラダ等野菜の量が少ないと指摘されたり、習った野菜350g、果物200gを考えながら食べている様子です。

67. 子どもは、野菜は体に良いという漠然としたものから、収穫体験や食育講座に参加したことによって、野菜というものを意識する様になり、食べるようになった。「5 A DAY」の合言葉は、今もしっかり頭の中に入っているようです。
68. 子供がバランスの良い食事について聞いてくるようになった。

●「買い物・料理への興味・主催者(店舗)への共感」が見られたという回答

69. お米の収穫体験をしてから娘が、お米をといだりといったお手伝いを積極的にしてくれるようになりました。学校でも地産地消などならってきて県内のお米を買ってきてほしいと言ったりしています。野菜も前より積極的に食べるようになってくれました。
70. 食べる専門だった子供が、一緒に台所に立ってくれるようになりました。豚汁、やきそば、ギョーザ作ってもらいました。
71. 手巻きずしの具でレパートリーが増えました。納豆菌の強さにおどろきました。
72. 10歳の男の子で、料理に興味を示しています。工場で冷凍食品をクッキングしたこと（冷凍ギョウザ）がとても楽しかったようです。夕食の食事を作り始めると、作るのを手伝いたがるようになりました。自分で作ると苦手な料理も頑張ってみようと思えるようになりました。
73. スーパーに興味を持ち、一緒に買い物に行くようになりました。食事を作ることも興味をもち、積極的に手伝うようになりました。
74. もともと、野菜はよく食べていたが、にんじんの天ぷらは家で作っていたものと違って（家では千切りにして揚げていたが、食べたのは、厚切りの天ぷら）ので、試食と同じように作ったら、そっちの方がおいしいと言った。

●「農業・農作業への興味・生産者への共感」が見られたという回答

75. 今回、収穫体験させてもらったのがキャベツで、キャベツ収穫は初めてでとても喜んでいました。家に帰ってからも、どうやって収穫するのか話していました。そして自分で収穫したキャベツをおいしそうに食べていました。とてもいい経験になったと思います。ありがとうございました。
76. いもほりをしました。なかなか土をさわることがないので楽しかったようです。焼きいもにしたら、とてもよく食べました。なめがた（いばらき）のほしいもを見つけては、よく買って食べています。
77. トマトの栽培を見学しましたが、生産者の御苦労が良くわかりました。子供も少しは野菜を食べることが大事であることがわかり、大変良かったと思っています。皆様ありがとうございました。
78. 孫は野菜が大好きでよく食べますし、祖父の畑仕事に興味を持ち以前より自ら手伝うようになってきました。食卓で1回自分が手の平いっぱい分の野菜、またそれを計量させたことが大変印象に残り野菜を摂取することの大切さがしっかり身に付きました。自分たちの作った納豆が届いた時にはそれはそれは大喜びでツアーに参加出来なかったママや祖父たちに自慢しながら分けてあげていました。ツアー当日、だけでなくいつまでも関連事項が続くこの企画は素晴らしいですね。気軽に参加したツアーだったのですが、内容が濃くおみやげたっぷりです。申し訳ない気持ちでいっぱいです。有り難うございました。
79. 親子で収穫体験をする事が出来て大変うれしく思います。初めての収穫は、あいにくの雨でしたがおいしそうな人参を前に、雨がっぱを着て、親子共、時間を忘れる程、楽しく協力しながら作業しました。普段、土の中での活動は、あまりやらないため、とても印象に残ったらしく、また、野菜の収穫がやってみたくておられます。スーパーへ並べられた状態の野菜しか分からない子供たちが多いため、今後もこのような活動は、続けてほしいし、ぜひ参加したいと思えます。

80. 9、6、5歳の子供が一緒に参加しました。全く農業体験をした事のない子供です。広大な農地、に驚き、野菜1つ1つがどのように育っているのか、とても印象に残った様子です。買って来た野菜の袋を見ては、どこの県のものだとか、興味をもち始めました。又、自分が収穫した物はとてもおいしかったようで、嫌いな物でも食べていました。

●「家族のコミュニケーション促進」が見られたという回答

81. 帰ってから、すぐに白菜を大量に使った鍋料理をしました。また、参加した子供が、行けなかった祖母にツアーの体験を話していました。さらには、ツアーに参加した時に写真を撮っていただきましたが、何かに載ったのかとても気にしていました。
82. 収穫した野菜をすぐに食べてお父さんに自慢していた。また行きたいね！！と話していた
83. 家族で野菜を今までよりも意識して口にするようになりました。
84. 工場見学が良かったようです。ママに良く話をしていました。
85. 収穫したキャベツのパリッとした食感を思い出しては今日のは新鮮、新鮮じゃない等言ってきます。

●「その他」の回答

86. 普段、体験できることが少ない工場見学や、食育講座を受けることができ、親子で食への関心が高まりました。このような企画を考えてくださったスーパーがより身近に感じました。
87. 娘は、夏休みの自由研究で食育について取り組んでいました。食育講座もウインナー作りも楽しく学べた上に宿題まで片付けられ、親子共々本当にありがたく思いました。大変お世話になりました。
88. 収穫体験を通して、自分で何かをすることでの達成感を、理解したようです。料理なども、進んで手伝うようになりました。
89. 小学校5年生の娘は夏休みの宿題に「新聞作り」が出ていて、その新聞を『工場見学新聞』にして、「ウインナー作り」や「フードチェーン」。「5 A D A Y」の事を記事にしました。このツアーの中で、“工場見学やウインナー作りと試食”だけでなく、“フードチェーンと5 A D A Y、食育講座”などがあった事がとても良かったと思いました。秋の学校での社会科見学のお弁当作りで「飾り切り」をT r y！！うさぎは上手に出来ました（カバとゾウはまだ出来ません）
90. 食育講座や漁業体験の時（参加しているその日）は、知っていることも積極的にこたえたりしなかったが…久しぶりに販売体験をした生協さんのスーパーの前を通った時、「また行きたいなー」と言っていた。2年生なのでどの程度理解できたか（講座）「…？」でしたが、継続して生活の中で学んでいくことが大切なので来年もまた参加したいです。
91. ツアーの時は美味しい！と食べていたけれど、普段は進んで食べないです。（子ども）元々好きなものではなかった。
92. ツアーに参加したことにより、興味のある分野が増えたように思います。ツアー後、キャベツを買うために店頭へ行ったり、三笠のジオパーク見学もしました。中学生になるので、このような機会がなくなってしまうのでは…と思っています。このような体験が大好きな子供なので、また参加させてほしいです。